

事業所名		ばんびーに トレーニング館		公表日		2026年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		一人一人のスペースが確保されていて、別室も目が届く位置に設置している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		職員の配置数は、個別対応や配慮が必要な児童・生徒などを配慮した上で配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		室内全てバリアフリー化されている。棚やラック等には、大きい文字やイラスト等でラベルを貼り、物の置き場所が目でわかるようにしている。明るすぎる色や光沢を避け、シンプルで落ち着いた空間になるように工夫している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		毎日、活動後に子ども達と一緒に掃除を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		個別に部屋は確保できているが、必要に応じてパーティション等で仕切りをつくっていることもある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		昼礼や業務終了後に打ち合わせを行っている。また、月に1回全体ミーティングを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		ミーティングの中で、評価表や日々の送迎での保護者からの意見を職員間で共有し、業務改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80%	20%	虐待防止委員会等により第三者による評価と助言を受け業務改善につなげている。	全体の外部評価については、今後検討していきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		オンラインでの研修を含め、社内での事例検討会や地域の研修会に積極的に参加してもらっている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		ホームページに公表されている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		職員間で情報共有や意見交換ができる環境を設定し話し合っている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			毎日昼礼を行い、当日の送迎、支援内容、担当、配慮しなくてはならないことなど共有し、支援に努めている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	90%	10%		支援終了後、必要な情報の共有をようしている。振り返り等は、状況に応じて翌日の朝に打ち合わせをしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			日々、記録をつけている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			モニタリング後、すぐに報告があり、全ての職員で情報共有ができていて良い。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	90%	10%		言葉で伝えることが難しい子や子ども達の特性にあわせ、選択肢や絵カード等の視覚的支援を行い、本人自信が自己決定できるようにしている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%			SNSやFAX等を通して、適切に行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	90%	10%		利用児童・生徒がほぼ中高生のため、小学校と相談支援専門員と情報を共有している。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%			定期的に研修を受けている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%			地域交流まつりも収穫祭を開催し、地域住民との交流を深める機会を設けている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%			可能な限り、非常勤の職員にも参加してもらっている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			送迎の機会を通して伝えている。状況に応じて面談等も行い、保護者にアドバイスや助言を行っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%			地域で行っている研修等の案内状を保護者に配布し、情報提供した。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			契約時や保護者面談時に説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			面談時に説明し同意を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			定期的な面談の他にも必要に応じて面談の機会を設けている。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		5月に、親子レクリエーション&BBQ大会を実施し、親子とごきょうだい、保護者同士での交流できる機会を設けた。また、保護者の抱える悩み等の情報交換や職員による助言も行った。	年に数回イベントを開催し、当日参加できなかった方も別日に参加し、保護者同士で交流がもてる機会をつくっていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		苦情窓口を設置し、適切な対応をとっている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		個人情報の取扱いには十分留意している。	鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%		地域交流さつまいも収穫祭を実施し、地域住民とのかかわりがもてている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		委員会を設置し、マニュアル作成を行っている。	通常、年1回の見直し。 (ただし、状況に応じて都度見直しを行う)
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		業務継続計画（BCP）作成を行い、月1回以上の避難訓練も実施している。	・備蓄品においては、定期的に点検を行っている。 ・訓練日を事前に伝え、職員間で周知していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		契約時に必ずお薬の説明書を提出してもらい、発作時の状況を確認している。必要に応じて、医師の意見書を提出していただいている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		契約時に必ずアレルギー等の有無を確認し対応している。必要に応じて、医師の意見書を提出していただいている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		虐待防止委員会を設置し、報告や助言、事例検討会を行い、第三者からの評価をいただくなど虐待について周知を深めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		契約書や計画書、別紙での身体拘束の同意書を面談時に説明して保護者の同意を得た上で、記載するようにしている。	